







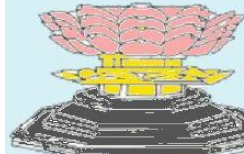

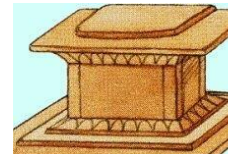



坐法と台座一覧

区分	結跏趺坐（けっかふざ）①吉祥座	結跏趺坐（けっかふざ）②降魔座	半跏趺坐（はんかふざ）	輪王坐（りんとうざ）
坐法	 左足を右の股の上に乗せた後に、その上から右足を左腿上に乗せる。	 右足を左腿上に乗せた後に、その上から左足を右腿上に乗せる。如来像で多く見られる	 片方の足だけ太ももに組む形を半跏趺坐と言う。半跏坐は菩薩の坐り方	 輪王座は立膝にした右足を、膝を倒した左足の裏にのせる。如意輪観音の坐り方
	跪坐（きざ）	倚坐（いざ）	半跏踏下坐（はんかふみさげざ）	遊戯坐（ゆげざ）
坐法	 両膝を地面につけて座る形で、正座に近く、正式には「大和座り」という。	 台座や椅子に腰掛け、両足を下ろす。白鳳・天平時代の如来像によく見られる。	 弥勒菩薩に見られる。この坐法で右手を頬に当て、思いに耽っている像を半跏思惟像という。	 台座に掛け、片足は垂下し前方に軽く投げ出す。他方の足は膝を倒し甲は垂下した片足の側に置く
区分	蓮華座（れんげざ）	裳掛座（もかけざ）	須弥座（しゅみざ）・宣字座	雲座（くもざ）
台座				
	瑟瑟座（しつしつざ）	岩座（いわざ）	荷葉座（かしょうざ）	鳥獸座（ちょうじゅうざ）
台座	